

# 目指す将来像と施策体系

## 1. 目指す将来像

第4次朝来市環境基本計画の基本目標を踏まえて設定

## 2. 基本方針

### (1) 省エネルギー対策の徹底

温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を削減するためには、徹底した省エネルギー対策が不可欠であることから、公共施設における省エネルギー対策に率先して取り組むとともに、市民や事業者に対して脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を促進することで、日常生活や事業活動等のあらゆる場面におけるエネルギー消費量の削減を徹底していきます。

### (2) 再生可能エネルギーの導入拡大

本市では、これまで太陽光発電やバイオマス発電、小水力発電等、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入が進んでおり、今後も太陽光発電を中心に再生可能エネルギーのさらなる導入拡大を図っていきます。また、再生可能エネルギーに加えて蓄電池を導入することによって自家消費を促進し、自立・分散型のエネルギーシステムを構築することで、災害に強く、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めていきます。

### (3) 森林吸収源対策の強化

本市は市域の約84%が森林に覆われた自然豊かな地域であることから、森林資源は本市にとって最大の強みであり、森林吸収量はゼロカーボンシティを実現するためには不可欠なものです。しかし、収穫期を迎えた人工林が大半を占めていることから、「朝来市森林ビジョン」に基づく計画的な森林整備によって森林吸収量の維持、増加を図っていきます。

### (4) あらゆる主体の連携による地球温暖化対策の推進

ゼロカーボンシティを実現するためには、あらゆる主体が地球温暖化の現状を理解するとともに、将来起こり得る影響に対して危機感を持ち、自ら考え、率先的に行動していくことが求められます。そのため、市民、事業者、各種団体、行政機関等の意識を高めることによって行動変容を促進し、一丸となって地球温暖化対策に取り組んでいきます。

### 3. 施策体系

ゼロカーボンシティの実現に向けて、以下の施策体系に基づいて温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減及び吸収量の増加に取り組んでいきます。

目指す将来像



#### 基本施策1 省エネルギー対策の徹底

- ・ 公共施設の省エネルギー対策の推進
- ・ 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換促進
- ・ 住宅・建築物の脱炭素化の促進

#### 基本施策2 再生可能エネルギーの導入拡大

- ・ 太陽光発電の導入拡大
- ・ バイオマスの利用拡大
- ・ 未利用エネルギーの利活用検討
- ・ 水素エネルギーの普及啓発

#### 基本施策3 循環型社会への転換

- ・ ごみの発生抑制・再使用の促進
- ・ ごみの再生利用の促進

#### 基本施策4 脱炭素まちづくりの推進

- ・ 公共交通の整備・利用促進
- ・ 次世代自動車の普及促進
- ・ 森林吸収源対策の推進
- ・ 木材の利活用の促進
- ・ 緑化の促進

#### 基本施策5 気候変動影響への適応

- ・ 適応策に関する普及啓発
- ・ 適応策の検討

#### 基本施策6 環境学習・環境教育の推進

- ・ 情報発信の充実
- ・ 環境学習・環境教育の機会の充実